

# 平城宮跡歴史公園について



# 1. 平城宮跡歴史公園の概要

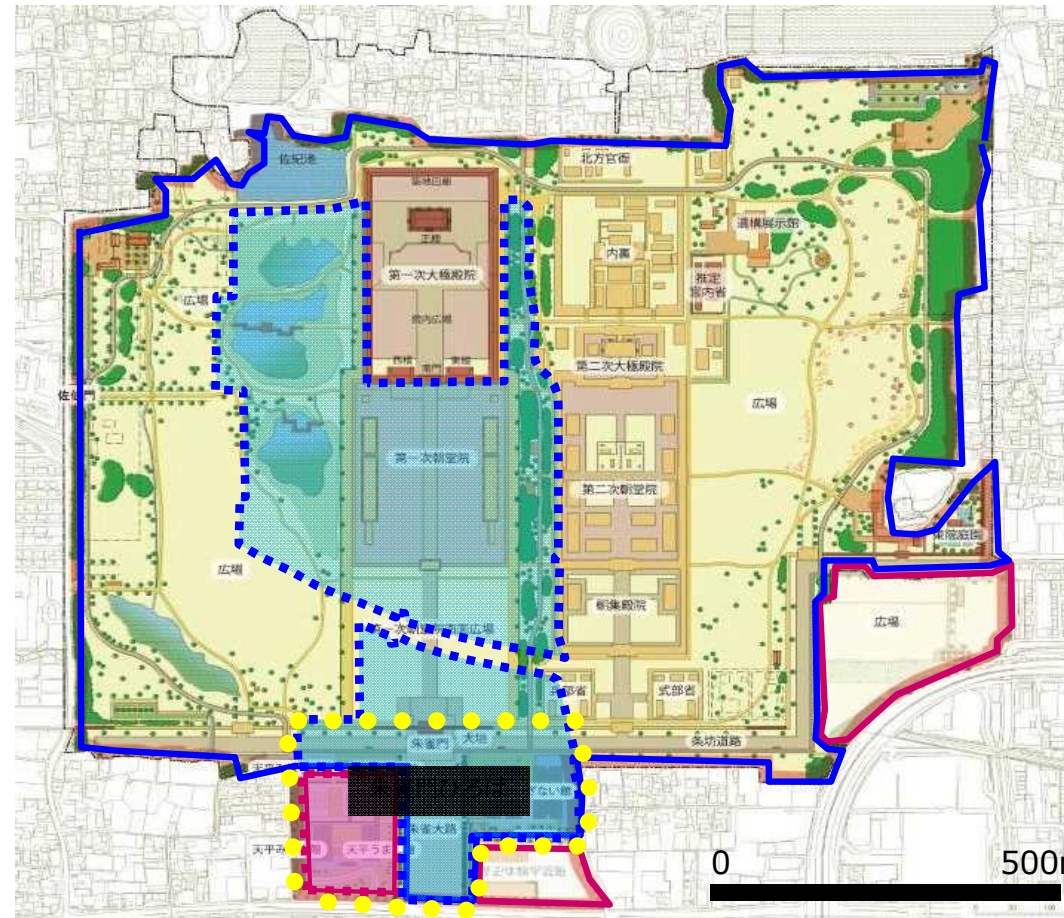
- ▶平城宮跡歴史公園※は、平成20年度の閣議決定に基づき、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間」として事業を進めて来ているところ。
- ▶平成30年3月24日、「朱雀門ひろば」等について整備が進んだことから、国営公園部分と奈良県営公園部分を同時に一部オープン。

※ 国土交通省が整備する国営公園部分は、通常は「国営平城宮跡歴史公園」（平成20年度の閣議決定に基づく正式名称は「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域」）の呼称を用いているが、今回は奈良県営公園部分と同時に供用することから、皆様により一層馴染みやすい公園とするため、「平城宮跡歴史公園」という呼称を用いている。

## 【位置図】



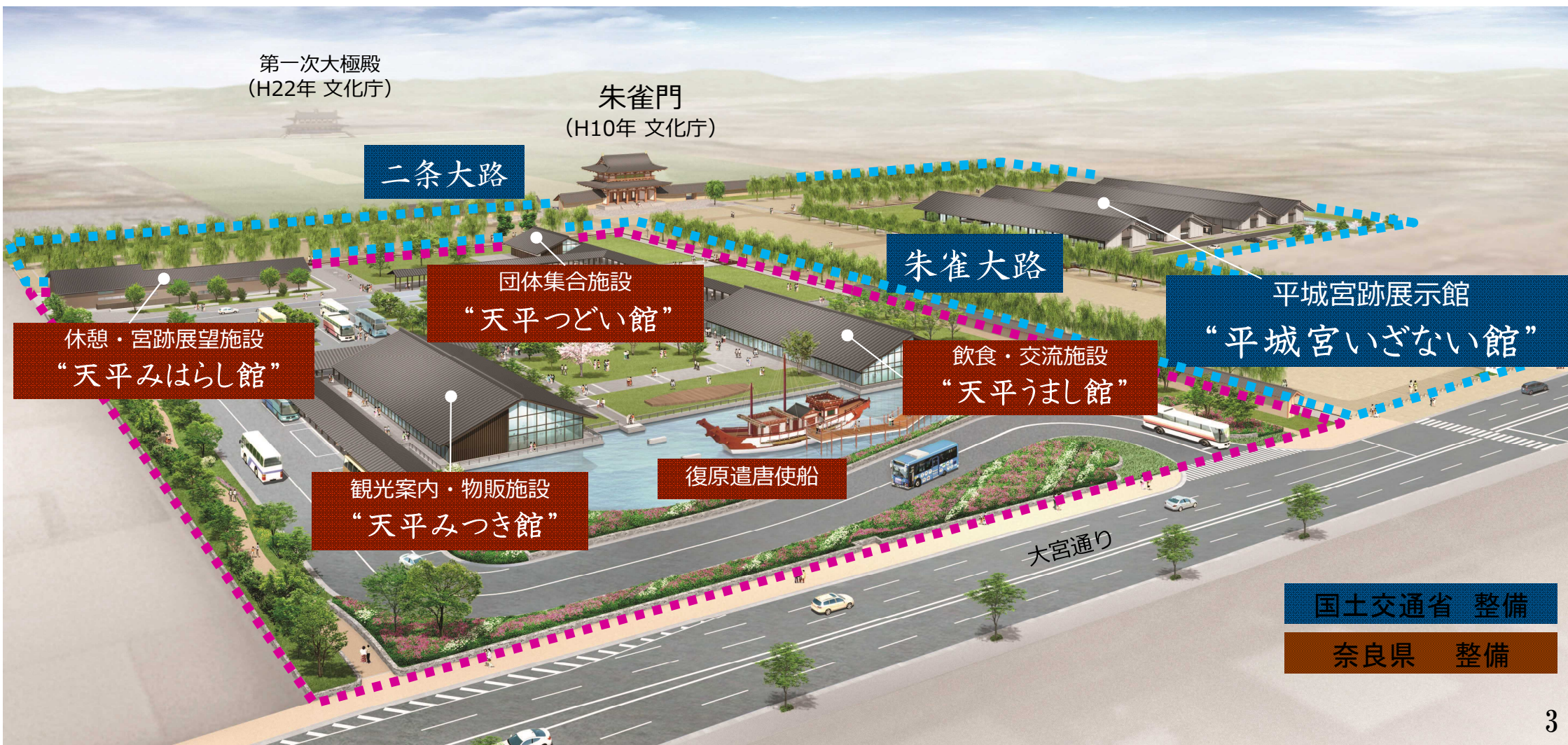
## 【平面図】



- 国営公園区域 (約122ha)
- うち、開園区域 (31.8ha)
- 県営公園区域 (約10ha)
- うち、開園区域 (3.1ha)

## 2. 「朱雀門ひろば」の概要

平城宮跡歴史公園の“正面玄関”として、平城宮跡全体のガイダンス施設である「平城宮いざない館」において、大型映像や模型、平城宮跡を体験的に学ぶことのできるハンズオン展示、宮跡内で発掘された出土品等の展示を通じて、平城宮跡の様々な魅力を伝えるとともに、レストランやカフェ、奈良の物産を扱うスーベニアショップ、奈良全体の観光案内所、団体旅行者専用の集合施設、復原遣唐使船やVRシアターといった体験施設において、平城宮跡を訪れた観光客の方々への各種サービスが提供。



## 2-1. 朱雀大路・二条大路

### 朱雀大路

復原的に整備された平城京のメインストリート  
「朱雀大路」（幅約74m、長さ約250m）



### 二条大路

復原的に整備された朱雀大路に次ぐ規模の  
「二条大路」（幅約37m、長さ約400m）



# 2-2. 平城宮いざない館の概要



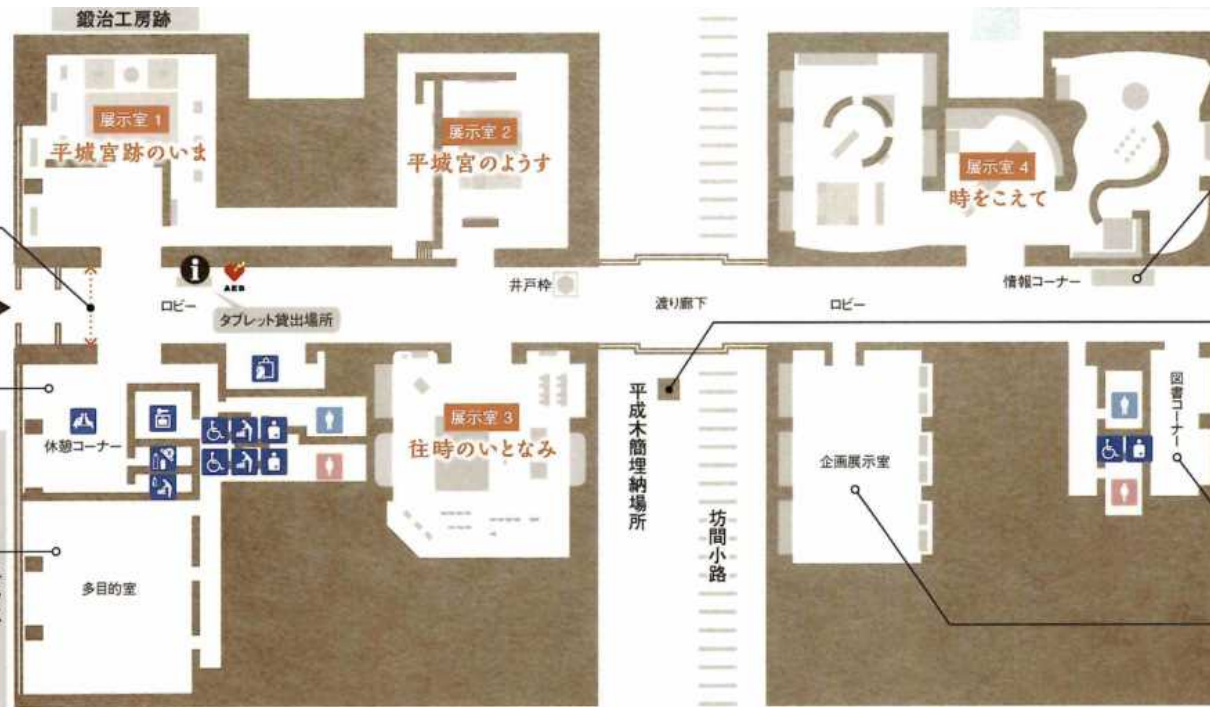
## 《館内マップ》

**ロビー幅にもご注目ください**  
平城宮いざない館のロビーは、坪内道路（奈良時代の道路）と位置・道幅をそらえるなど、“平城京のかたち（都市計画）”が感じられる“遺構表示”となっています。

**休憩コーナー**  
飲み物の自動販売機を用意しています。休憩コーナーのみ飲食可能です。授乳室もあります。

**多目的室**  
定期的にイベントや歴史の講演会などを開催します。（利用を希望される方は、管理センターへお問い合わせください）

柵田嘉十郎像



**情報コーナー**  
平城宮跡と関係の深い周辺施設のWebサイトを自由にご覧いただけます。

**「平城木簡」が埋納されています**  
「平城木簡」は平城遷都1300年祭が行なわれた平成22年（2010）、市民ら11,440人により作成された、未来へのメッセージを託すタイムカプセルで、平城宮いざない館の地中に埋納されています。

**図書コーナー**  
平城宮跡に関連した書籍を自由にお読みいただけます。

**企画展示室**  
定期的に企画展を開催します。

▲ 関係者用通用口（管理センター入口）

条間小路

展示室 1



四季の魅力や施設の利用情報をご案内

展示室 2



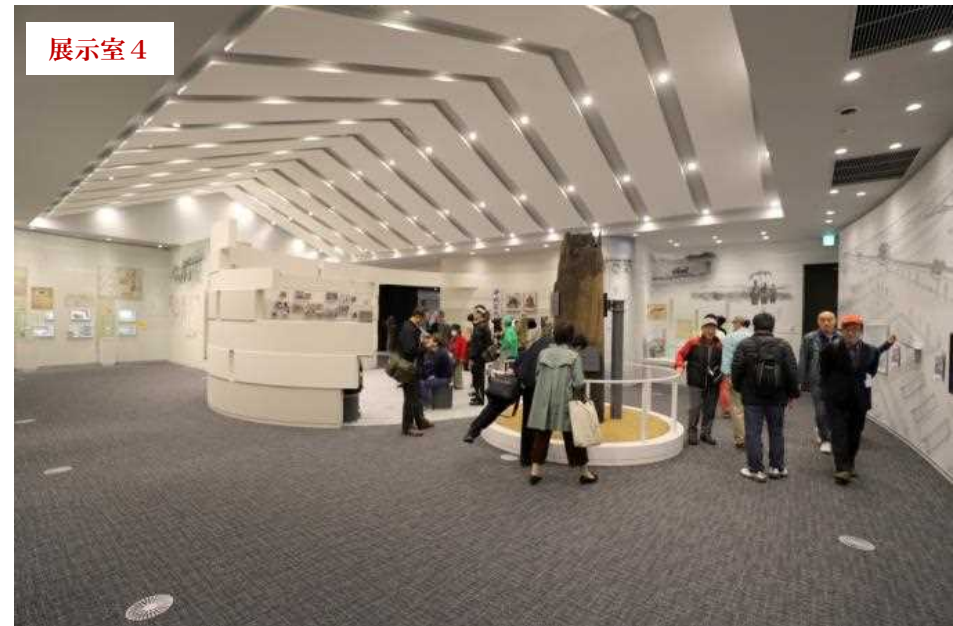
往時の平城宮の姿を1/200模型や大型映像で解説

展示室 3



平城宮の営みを第一次大極殿1/5模型やハンズオンで解説

展示室 4



奈良文化財研究所が発掘・調査した平城宮跡の出土品等を展示

## 2-3. 県営公園区域の各施設

飲食・交流施設  
“天平うまし館”



レストラン / tokijiku kitchen



カフェ / IRACA COFFEE

観光案内・物販施設  
“天平みつき館”



スーベニアショップ / 平城京 肆 (いちくら)



観光案内所

休憩・宮跡展望施設  
“天平みはらし館”



VRシアター



シェアバイク

団体集合施設  
“天平つどい館”



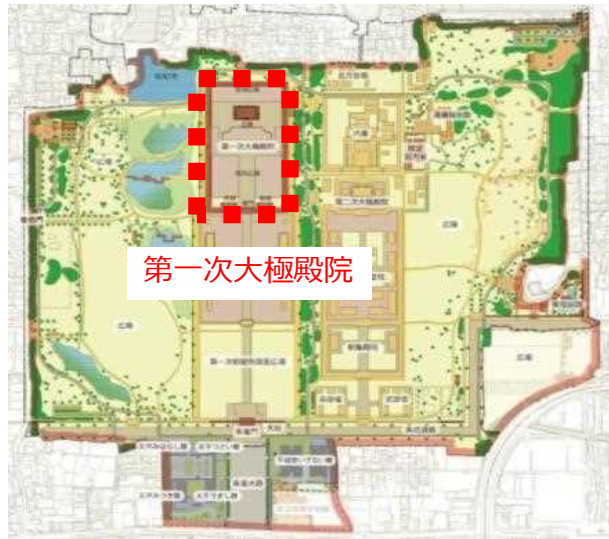
団体来園者向け集合・休憩スペース



## 2-4. 今後の復原事業の概要

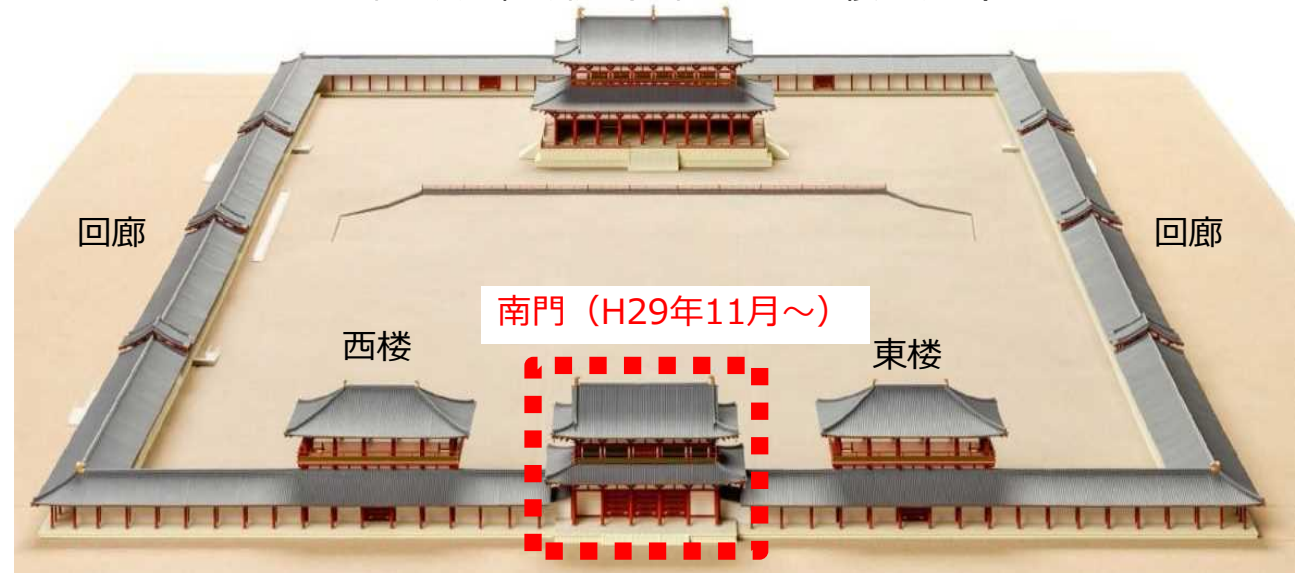
平成29年11月に着工した第一次大極殿院 南門の復原整備など、今後は平城宮跡のシンボルである第一次大極殿院の復原整備等を進め、歴史公園として平城宮跡の更なる保存・活用を図っていく。

【位置図】



【第一次大極殿院 復原模型】

第一次大極殿院（文化庁により復原済み）



【南門復原整備工事の素屋根（手前）】



- 南門復原整備工事（H29年11月～H34年3月予定）では、素屋根に常時公開用デッキを設置し、伝統工法による復原の様子や第一次大極殿院の復原事業の解説などを行う、「魅せる現場」を展開予定。
- 東楼や西楼等についても、平城宮跡の発掘調査を行う奈良文化財研究所等の協力を得ながら、復原整備の検討を進め、順次整備事業を進めていく方針（時期未定）。